

群馬県立土屋文明記念文学館所蔵

『新古今和歌集』写本特別公開

当館が所蔵する伝世尊寺定成筆『新古今和歌集』写本は、鎌倉時代中期～後期のものとされ、『新古今和歌集』の写本の中でも大変古く貴重なものです。このたび、三菱財団様のご協力により修復を終えたことを受け、特別公開いたします。

公開期間 令和4年 2月11日(金)～2月28日(月)

展示場所 群馬県立土屋文明記念文学館 1F 常設展示室 (要常設展観覧料)

記念講演会



「最新技術を使った『新古今和歌集』写本及び古筆切の修理」

半田昌規氏 (はんだまさき・半田九清堂社長)

1962年生まれ。多摩美術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業後、半田九清堂に入社。現在、株式会社半田九清堂 代表取締役社長、国宝修理装演師連盟 副理事長、世界紙文化遺産支援財団・紙守 理事を務める。東京芸術大学文化財保存学科、広島市立大学芸術学部、女子美術大学芸術学部などで文化財の保存について教鞭をとる。

主な修理文化財：国宝普賢菩薩像 東京国立博物館蔵、国宝上杉本洛中洛外図屏風 狩野永徳 米沢市上杉博物館蔵、国宝熊野御幸記 藤原定家 三井記念美術館蔵

「土屋文明記念文学館本を読みつつ考える『新古今和歌集』の歴史」
海野圭介氏 (うんのけいすけ・国文学研究資料館教授、総合研究大学院大学教授)

1969年生まれ。大阪大学大学院博士課程修了。博士(文学)。古今伝受の歴史的研究、鎌倉時代～江戸時代初期の和歌の歴史と禁裏・公家の古典学に関する研究を研究テーマとし、『和歌を読み解く 和歌を伝える一堂上の古典学と古今伝受』(2019年 勉誠出版)など著書、論文多数。



日時 令和4年 2月20日(日) 14:00～15:30 (13:30～受付)

会場 群馬県立土屋文明記念文学館 2F 研修室

定員 100名 要事前申込(先着順) 参加無料

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催および定員等を変更する場合がございます。

記念講演会 申込方法

当館ホームページ内「イベント申込フォーム」か、「往復はがき」でお申し込みください。先着順。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

- 申込はお一人様1回限り有効です。
- 申込者(代表者)を含め2名様まで申込できます。
- 個人情報は適切に管理し、当イベントのみ使用します。

往復はがきの書き方

《往信表面》〒370-3533 高崎市保渡田町 2000
群馬県立土屋文明記念文学館・イベント係

《往信裏面》① 2/20(日)・「新古今」記念講演会
② 申込者(代表者)の郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号
③ 申込人数(申込者含め2名まで)

《返信表面》申込者(代表者)の郵便番号、住所、氏名
《返信裏面》何も記入しない